

骨髄バンクを支援するやまがたの会

会長 小野寺 南波子 氏



岩手県西根町(現八幡平市)生まれ

1968年11月 結婚、3人の男子に恵まれる。

1990年3月~5月9日 3男「守」風邪の症状を繰り返す。急性リンパ性白血病と宣告される

1992年10月4日 17歳と40の生涯を閉じる。

1994年1月 山形県保健看護学院を皮切りに講演活動を開始

1995年2月12日 『骨髄バンクを支援するやまがたの会』発足、一会員として入会

1998年7月 『骨髄バンクを支援するやまがたの会』会長に就任 骨髄バンク普及啓発活動を積極的に展開・

1998年~2000年12月 山新愛の事業団、平成19年度『愛の鳩賞』受賞

2011年7月 第47回献血運動全国大会体験発表。皇太子殿下(現天皇陛下)ご臨席

2017年4月~ 『骨髄バンクドナー助成制度』が県内全市町村で導入

2023年12月 医療講演会「未来につなぐ命と心のバトン」

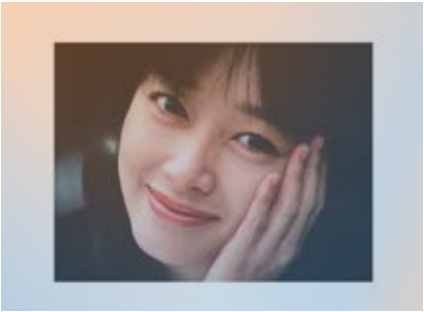
救えなかった”いのち”

高 阜ロータリークラブ 例 会
会 場 旅館エビスヤ

2024 年10月17日



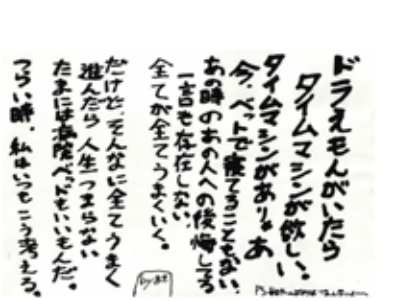
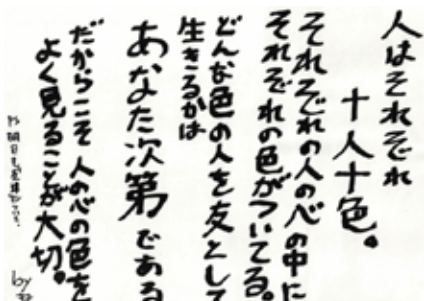
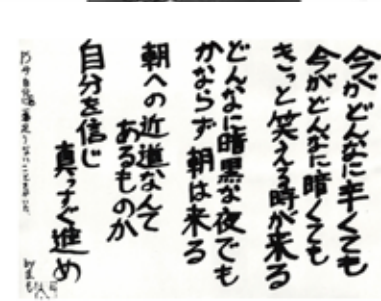
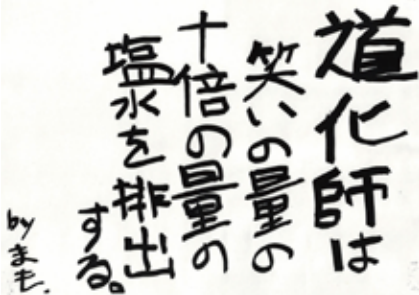
中学校卒業式の後、教室で。



入学して 5日目
・東海大山形高校から電話です
。「守くんが倒れました。すぐ迎えに来てください」と・・・



小野寺 守



「息子を失い、この本を上梓したことで、私の人生は大きく変わりました」

1990年5月 ALL発症
1991年4月 高校入学
ALL中枢神経再発
1992年10月4日 死亡 享年17歳
1993年1月 非血縁者骨髄移植
骨髄バンクの第一例目
《東北大学抗腫瘍研究所小児科》



次回の例会 [2712 th] 2024.10.31

ガバナー公式訪問
高 阜町長表敬訪問

次々回の例会 [2713 th] 2024.11.7

山形県立 興譲館高等学校
校 長 吉 田 直 史 氏

Rotary Rotary International District 2800
2024~2025
TAKAHATA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT

ロータリーのマジック

10月24日

会長 金子 良弘 幹事 梅津 陽一郎 例会 毎週木曜 12:30~13:30 旅館 エビスヤ 事務局 山形県高阜町高阜 911-2-2F tel 0238-52-5440 fax 52-5444

本日の例会 [2711 th] 2024.10.24

骨髄バンクを支援するやまがたの会

会長 小野寺 南波子 氏

前回の例会 [2710 th] 2024.10.17

骨髄バンクを支援するやまがたの会

会長 小野寺 南波子 氏

- ・点鐘 12時30分 金 子 良 弘 会長
- ・ロータリーの目的斉唱 井 田 和 史
- ・ロータリーソング 奉 仕 の 理 想
- ・ソングリーダー 加 藤 由 香 里 君
- ・S A A 島 崎 裕 司 君

会長あいさつ

金 子 良 弘 会長

みなさんこんにちは。

初めに、本日の講師の方をご紹介します。

骨髄バンクを支援するやまがたの会 会長 小野寺 南波子様です。小野寺会長とは、20年近くのお付き合いになっています。会員卓話でもお話したことがあります。青年会議所に在籍中に骨髄バンクに登録してドナー提供をした時からですので、時が経つのは改めて早いと思います。この度、やまがた社会貢献基金協同助成事業の認定を受け「いち逢い」事業を展開しています。この事業は、バンクの登録者数が10年後には10万人減少することから若年層への登録を促す企画です。ほとんどがボランティアで参加している方だけです。予算も、中々ままならないことから会員の皆さんに小野寺会長からお願いがあると思いますのでその時は、よろしくお願いします。

小野寺会長には、今回と次回の講師をお願いしておりますが今回は、会を立ち上げるに至った経緯等をお話していただきますので後ほどよろしくお願いします。

話は変わりますが今日は、ロータリーソングの起源についてです。日本のロータリークラブは、例会でロータリーソングを合唱します。この習慣は、ロータリーの創立当初(1905年)からではなく、ある興味深い事件から始まったというのが通説です。

世界最初のロータリークラブは、米国のシカゴクラブ

です。創立当時のシカゴクラブは、会員同士の「親睦」と「物質的相互扶助」が主たる活動目的でしたが、1907年、Paul Percy Harrisは「社会貢献」と「クラブ拡大」を活動目的に追加しました。さらに、1908 年に入会した Arthur Frederick Sheldon が「奉仕」の必要性を強調したため、シカゴクラブは「親睦・互惠派」と「奉仕・拡大派」に分かれてしまい、例会の度に激論が交わされるようになったそうです。そんな刺々しい雰囲気やを和らげようと、歌好きの会員で「親睦・互惠派」だった、Harry Ruggles は、ある例会で椅子の上に飛び上がり、“さあ、一緒に歌おう”と 皆に呼びかけたそうです。その後、例会ではHarryの指揮で歌うことが習慣となり、その習慣が米国の多くのクラブに波及してゆきました。最初の頃は、「Smiles」とか「My Hero」などの大衆的な歌が好んで歌われたそうです。

《幹事報告》

梅津 陽一郎 幹事

- ・高阜混声合唱団演奏会の案内が届いております。11月10日(日) 午後2時~高阜町文化ホール「まほら」

スマイルBOX

誕生祝い 福島 悟 君・後藤 隆暢 君

結婚祝い 金子 良弘 君・相田日出男 君

- ・松茸の収穫がありました。よって月曜日に改革プロジェクトの委員会を開催いたします。

小 平 和 広 君

- ・ゲストの小野寺さんには快く講演をお引受けいただきありがとうございました。

金 子 良 弘 君

- ・前回例会の公園清掃と「芋煮会」に参加をいただきありがとうございました。

山 村 義 美 君

《出席報告》

会員数 46名 出席者数 19名 出席率 41.30 %
前回修正46名 出席者数 46名 出席率 100.0 %